

3-2 先導研究開発系の重点分野

実用化に向けた研究開発の推進

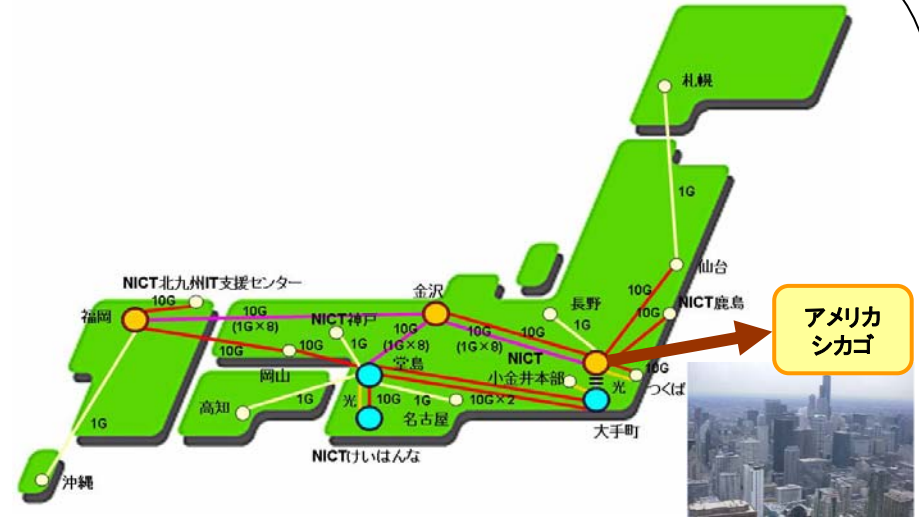


通信・放送分野における
新たな技術の実用化

- ・大学や民間企業など外部研究機関への研究委託
- ・ベンチャー企業等での研究開発に対する助成

先導的役割

産学官の優れた研究者を結集



大規模テストベッド等による
産学結集型研究開発の推進

- ・大学や企業を結集し、研究プロジェクトを推進
- ・大規模テストベッドなど研究施設の提供

事業化に向けた研究開発の支援



新規市場開拓につながる
民間の基盤技術研究の促進

- ・公募型の研究委託の実施
- ・海外からの優秀な研究者招へいによる民間企業交流

情報通信ビジネスの振興

事業化支援



ベンチャー支援や
情報通信インフラの高度化支援

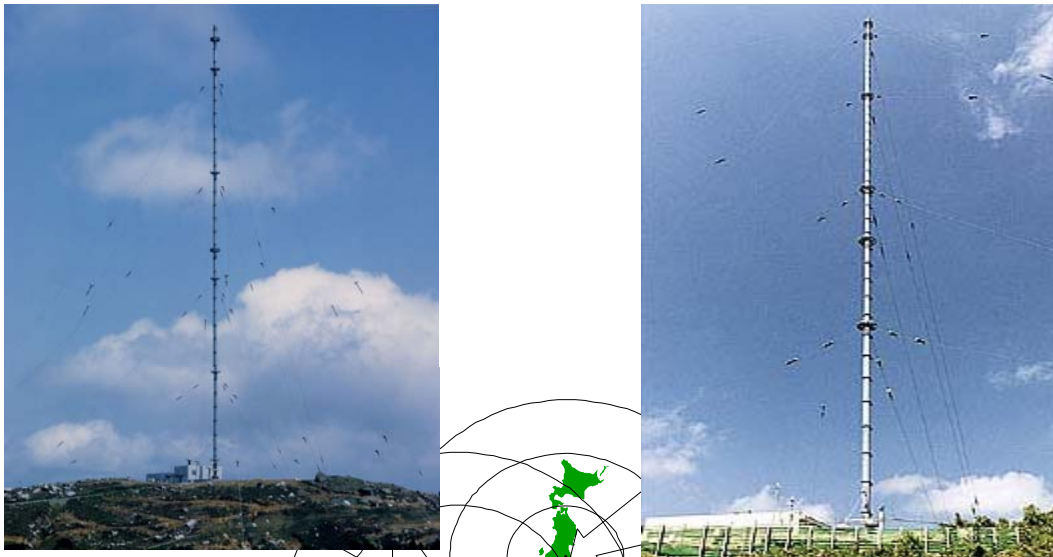
- ・情報通信ベンチャー育成のための情報提供、助成金交付、出資等
- ・インフラの高度化のための助成金交付、債務保証 等

3-4 3つの定常業務

社会基盤として国民に定常的に広くサービスを提供する業務の確実な遂行

周波数標準値の設定・標準
電波の発射・標準時の通報

電波の伝わり方の観測及び
予報・警報の送信・通報



はがね山
長波局

おおたかどや山
長波局

電波時計の普及: 1000万台以上



宇宙天気
予報
センター

無線設備の機器の試験・
校正



アンテナ
標準校正
システム

ICTで未来社会を創るエンジンになる。

ICT Value Chain

New ICT 日本発の新たなICTの「礎」を作る。

Infrastructure for ICT Society ICT社会の「安心・安全」を作る。

Challenge 10年後、20年後の日本の「種」を作る。

Testbed & Promotion 技術の花開かせる「小槌」を作る。

ICT: Information and Communications Technology : 情報通信技術

4つの戦略分野を設定し、トリガーとなる研究課題への総花的でない集中的なリソースの投入。
→総合的な研究開発・事業振興機能を活かした各種プログラムの推進

New ICT

日本発の新たなICTの「礎」を作る

日本ならではの独創性と先見性に富み、未来のICT社会において「世界標準」を実現する研究開発に取り組みます。

ユビキタス・ブロードバンド プログラム
モバイルICT プログラム
コンテンツ利活用 プログラム
ヒューマンコミュニケーション プログラム
フォトニックネットワーク プログラム

Infrastructure for ICT Society

ICT社会の「安心・安全」を作る

未来のICT社会における国民生活・社会生活・国際社会・地球環境の「安心と安全」を確立する研究開発に取り組みます。

情報セキュリティ プログラム
タイム・測位 プログラム
電磁環境・電波資源開発 プログラム
高度放送 プログラム
環境・計測・宇宙天気 プログラム

Challenge

10年後、20年後の日本の「種」を作る

国民生活の未来を拓き、日本の産業・経済を安定的に発展させるために、「長期的視点」に立った先端的な研究開発に取り組みます。

ナノICT プログラム
バイオICT プログラム
光・量子通信 プログラム
スペース・テクノロジー プログラム

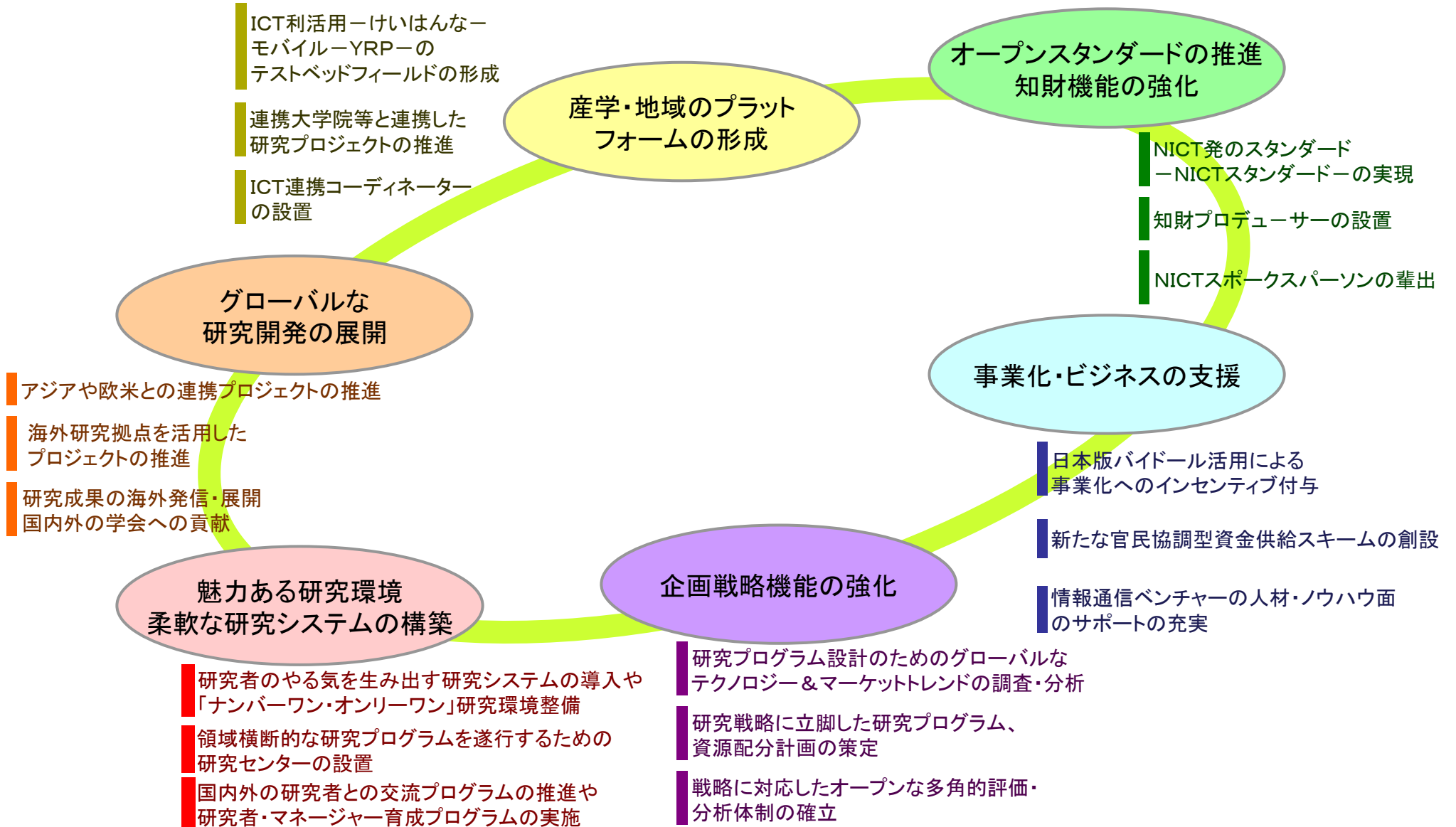
Testbed and Promotion

技術の花開かせる「小槌」を作る

技術を実用化に結びつけ新たなビジネス・サービスを創出させるため、民間等の研究支援、事業支援に取り組みます。

研究開発ネットワーク プログラム
アプリケーションプラットフォーム プログラム
民間基盤技術研究促進 プログラム
新事業創出・育成 プログラム

4 NICTビジョン(3/3) ~6つのアクション~



5 アドバイザリーコミッティーの開催

1 目的と概要

- 学識経験者等の外部有識者からのNICTの業務運営についての助言等をトップマネジメントに積極的に反映させることにより、NICTの業務運営の更なる適正化及び効率化を推進するため、理事長に対して意見及び助言をする機関として、国内外の学識経験者等の外部有識者により構成※¹される「アドバイザリーコミッティー」を開催。

※¹ アドバイザリーコミッティー委員（敬称略、五十音順）

神谷 武志	大学評価・学位授与機構学位審査研究部長	河内 正夫	NTT理事先端技術総合研究所 所長
清原 慶子	三鷹市長	坂内 正夫	国立情報学研究所副所長
須田 達也	カリフォルニア大学アーバイン校 教授	多賀谷 一照	千葉大学学長補佐、法経学部 教授
鳥井 弘之	東京工業大学原子炉工学研究所 教授	牛 志升	清華大学信息科学技術学院副院長
松本 紘	京都大学生存圏研究所 所長	村上 輝康	野村総合研究所理事長
山口 英	奈良先端科学技術大学院大学 教授	矢野 薫	NEC代表取締役副社長
山根 一眞	ノンフィクション作家	渡邊 浩之	トヨタ自動車(株)専務取締役

2 第一回会合の開催

- 第1回会合を昨年度末に開催※²し、委員の皆様より以下の事項について有益なご助言をいただいたところ。
 - 基本的な方針に関すること（ミッション、今後目指すべき方向性等）
 - 業務運営に関すること（大学・産業界との役割分担、産業界を含む社会ニーズの業務への反映方策等）
 - 特に研究開発等業務の運営に関すること（時期中期計画における重点研究開発領域、情報通信分野における民間等の研究開発支援・事業振興のあり方等）

※² 平成17年2月2日、同月4日及び3月1日に分割して開催。

3 今後の取組み

- いただいたご助言については、次期中期計画の策定に向けた検討等、トップマネジメントによる更なる業務の効率化等への取組みへの参考としていく予定。
- なお、アドバイザリーコミッティーについては、本年度以降も定期的を開催していく予定。



2月2日の会合模様（長尾理事長のご挨拶）



2月4日の会合模様（2階展示室のご視察）



3月1日の会合模様（意見交換）



H16. 1. 27 NHK ニュース
電子地図情報で安全安心



H16. 1. 31 NHK ニュース7
救急車から患者の映像を送信



H16. 4. 6 NHK ニュース
画像を携帯端末に・・・開発スタート



H16. 5. 12 NHK関西 ニュース
地理情報システムで観光案内



H16. 9. 4 読売テレビ 鉄腕ダッシュ
降雨レーダで雨を捜す



H16. 9. 22 毎日放送 ちちんぷいぷい
速読する人の脳のしくみ



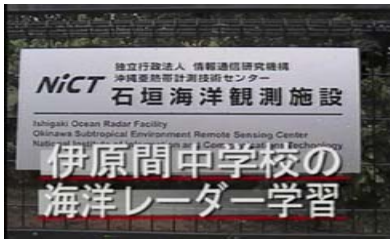
H16. 9. 14 ABCテレビ おはよう朝日です
脳は鍛えられるか？



H16. 5. 24 NHK仙台 てれまさむね
携帯電話の混雑状況



H16. 6. 25 NHK BSニュース
ロボットが活躍する未来の住宅



H16. 9. 17 石垣ケーブル八重山ナウ
最新技術「海洋レーダ」を学ぶ



H16. 11. 15 NHK 関西 ニュース
車椅子道案内ナビシステム



H16. 11. 20 スカイパーフェクトTV
日本の腕時計（日本標準時）



H17. 1. 6 日本テレビ ズームイン朝
インターネットで被災者の安否確認



H17. 1. 17 NHK おはよう日本
バイクを使って災害に強い通信



H17. 1. 19 NHK おはよう日本
人工衛星トラブル “太陽フレア”



H17. 2. 22 NHK おはよう日本
情報通信技術で町の情報を提供